

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	尚絅大学
設置者名	学校法人尚絅学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部等 共通 科目	専門 科目	合計		
現代文化学部	文化コミュニケーション学科		1	0	13	14	13	
生活科学部	栄養科学科			0	12	13	13	
こども教育学部	こども教育学科			0	12	13	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学ウェブサイトにおいて公表 ■情報公表-実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（大学） （URL：https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure） ■尚絅大学・尚絅大学短期大学部教務システム （URL：https://gakumu.shokei-gakuen.ac.jp/） ※ゲストユーザーからログインし、情報公表の「実務経験のある教員等による授業科目一覧表」を参照しながらシラバスを検索してください。

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	尚絅大学
設置者名	学校法人尚絅学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学 WEB サイトにて公表
<https://www.shokei-gakuen.ac.jp/outline/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	2025.3.31 ～ 2027 年度定 時評議員会 終結時	経営者として広く社 会的知見を活かした 経営計画策定への参 画、組織運営体制へ のチェック機能
非常勤	株式会社役員	2023.7.12 ～ 2027 年度定 時評議員会 終結時	経営者として広く社 会的知見を活かした 経営計画策定への参 画、組織運営体制へ のチェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	尚絅大学
設置者名	学校法人尚絅学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ■情報公表-尚絅大学・尚絅大学短期大学部授業計画作成ガイドライン (URL : https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure/) ■情報公表-各学部の授業科目一覧 (URL : https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure/) ■情報公表-各学部の授業科目のシラバス一覧 尚絅大学・尚絅大学短期大学部教務システム (URL : https://gakumu.shokei-gakuen.ac.jp/) ※ゲストユーザーからログインし、シラバスを検索 ■情報公表-授業履修の手引き COMPASS (初年次教育テキスト) (URL : https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure/) ■概要 授業計画書(シラバス)は、例年11月頃に全学の委員会である教務連絡協議会において、次年度のシラバスの作成・点検期間を決定している。この作成・点検期間に基づき、授業担当教員によるシラバスの作成、シラバス点検委員の点検を経て、4月1日に公表している。 また、授業概要(シラバス)は、尚絅大学・尚絅大学短期大学部教務システム(ユニバーサルパスポート)において、学生が履修する上で必要な事項(事前・事後学修、成績評価方法、成績評価の割合、アクティブ・ラーニング、実務家教員など)を記載し、情報を公表している。単位の認定については、学修への意欲を試験やレポート等で把握し、学修成果の厳格かつ適正な評価に基づき、単位を与えることとしている。 なお、実務家教員による授業科目については、本学の情報公表に「実務経験のある教員等による授業科目の一覧」で掲載しているほか、上記の教務システムにおいて、実務経験のある教員を検索して参照できる。	
授業計画書の公表方法	尚絅大学・尚絅大学短期大学部教務システム (URL : https://gakumu.shokei-gakuen.ac.jp/) ※ゲストユーザーからログインし、シラバスを検索してください。
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

■概要

尚絅大学学則第 13 条に規定する単位の計算方法により各授業科目の単位数を決定し、且つ尚絅大学学則第 24 条及び第 28 条に基づき、単位・卒業の認定を行う。

本学では単位の認定を行うにあたり、各教員に対してその授業を学ぶ「意味・意義」を意識させたシラバスの作成を求め、またその授業科目がディプロマ・ポリシー（学位授与方針）とどのように関連しているかを明示するよう求める。

具体的には「授業概要」「キーワード」「課題と評価の方法」「事前・事後学修及び学修時間の目安」等を記載し、入学した学部・学科の教育課程の授業科目を履修している。そして、各授業科目に定めている「到達目標」の達成状況を学力試験及び受講状況その他により認定の上、合格した者に単位を与えている。

卒業の認定については、本学に 4 年以上在学し、学部・学科で定める所定の授業科目を履修して 124 単位以上の単位を修得した者について、教授会の議を経て、学長が卒業を認定している。

(根拠規則)

尚絅大学学則第 13 条、同第 24 条、同第 28 条

<https://www.shokei->

[gakuen.ac.jp/files/univ/disclosure/2024/09_gakusoku_univ.pdf](https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/univ/disclosure/2024/09_gakusoku_univ.pdf)

3. 成績評価において、GPA 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

■GPA の算定について

情報公表-尚絅大学におけるグレード・ポイント・アベレージ (GPA) 制度に関する規程

(URL : <https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure/>)

■GPA の種類及び算出方法

- ・ GPA は、学期 GPA、通算 GPA に区分する。
- ・ GPA は以下の式により計算するものとし、小数点第 3 位を四捨五入し、小数点第 2 位を表示させるものとする。
- ・ 総履修登録単位数は、GPA 算出対象の授業科目の合計履修登録単位数とする。

GPA＝

$$\frac{(\text{秀} 4 \times \text{修得単位数}) + (\text{優} 3 \times \text{修得単位数}) + (\text{良} 2 \times \text{修得単位数}) + (\text{可} 1 \times \text{修得単位数})}{\text{総履修登録単位数}}$$

■概要

本学では学生の成績の客観的な指標として、GPA (グレード・ポイント・アベレージ) を採用している。その上で、学生の相対的な成績状況を把握している。また、学生の成績を各学部・学科の専任教員等に共有し、履修指導や各種奨学金等に関することなど、学生指導への活用などを行っている。

客観的な指標の 算出方法の公表方法	本学 Web サイトにおいて公表 情報公表－ 客観的な指標に基づく成績の分布状況（大学） https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
	（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） ■学部・学科紹介ディプロマ・ポリシー https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/diploma_policy ■概要 各学部・学科においてディプロマ・ポリシー（学位授与方針）を定めており、4 年間でそれらの資質・能力を満たすために、カリキュラムの中にある授業科目を履修し、所定の単位を修得することで、学位が授与される。また、尚絅大学学則第 28 条に卒業認定を規定しており、卒業に必要な授業科目、単位数及び卒業要件（卒業資格）は、各学科の履修規程において記載されている。 これら全ての要件を満たす学生は、学年又は学期の終わりに、教授会の議を経て、学長が卒業を認定することになっており、その卒業認定の結果については、学内の掲示板への掲示等により、学生に通知することとしている。 参考： 尚絅大学（学則）第 28 条 尚絅大学現代文化学部履修規程第 8 条 尚絅大学生活科学部履修規程第 4 条 尚絅大学こども教育学部履修規程第 4 条 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/univ/disclosure/2024/09_gakusoku_univ.pdf
卒業の認定に関する 方針の公表方法	本学 Web サイトにおいて公表。 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/diploma_policy

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	尚絅大学
設置者名	学校法人尚絅学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本学 Web サイトにおいて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/R06.pdf
収支計算書又は損益計算書	本学 Web サイトにおいて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/R06.pdf
財産目録	本学 Web サイトにおいて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/R06.pdf
事業報告書	本学 Web サイトにおいて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/R06.pdf
監事による監査報告(書)	本学 Web サイトにおいて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/R06.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 令和7年度学校法人尚絅学園事業計画書 対象年度: 令和7年度)
公表方法: 本学 Web サイトにおいて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/r7_jigyokeikaku.pdf
中長期計画(名称: 第二期中長期計画~2023年4月~2033年3月~ 対象年度: 令和5年~令和14年)
公表方法: 本学 Web サイトにおいて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/dai2ki_keikaku.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 本学 WEB サイトにて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/daigakuhyoka

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 本学 WEB サイトにて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/daigakuhyoka

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 現代文化学部文化コミュニケーション学科
教育研究上の目的（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表-尚絅大学学則） https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/univ/disclosure/2024/09_gakusoku_univ.pdf
（概要） 現代文化学部は、建学の精神及び教育理念に則り、高度なコミュニケーション能力を基礎に、高度情報化とグローバル化が進行する現代日本社会及び多様な表現文化について、広い視野から調査・分析する能力を修得し、ビジネスや行政の場で協働して問題を解決できる女性を育成することを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表） https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/diploma_policy?id=ad01
（概要） 現代文化学部は、建学の精神のもと、教育研究の目的に則り、以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、「学士（文学）」の学位を授与します。 (1) 日本語および外国語の運用力に基づく、高度なコミュニケーション力を修得している。 (2) 伝統的および現代的な日本文化に関する深い知識に基づき、古代から現代に至る日本文化を調査・分析する能力を修得している。 (3) 高度情報化とグローバル化が進行した日本の地域社会・地域文化、および東アジアの社会文化に関する幅広い知見に基づき、日本社会・文化に関する諸問題を調査・分析する力を修得している。 (4) 上述の能力を総合的に活用して、ビジネスや行政の場で協働して問題を解決できる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表） https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/curriculum_policy?id=ad01
（概要） 現代文化学部は、学則に掲げる目的に基づき、ディプロマ・ポリシーで示す能力を修得させるため、以下のような方針でカリキュラムを編成します。 (1) 大学教育への円滑な導入を図る初年次教育として、自主的思考力を涵養し、汎用的技能と専門的知識の修得に必要な基礎学力をつけるための科目を配置します。 (2) 幅広く教養を培い、豊かな情操や高い倫理観を涵養するために、教養教育科目を配置し、高度な専門的知識・技能を育成するために、専門教育科目を専門導入科目から段階的、系統的に展開します。 (3) 日本語および外国語の運用力に基づく、高度なコミュニケーション力の修得のために、教養教育科目で日本語運用能力養成領域および多文化コミュニケーション領域と、専門教育科目で実践外国語科目を配置します。 (4) 日本および東アジアの社会と文化に関する諸問題を様々な角度から調査・分析する能力を修得するために、教養教育科目に調査分析基礎領域、専門教育科目に「文芸文化」、「情報メディア文化」、「日本・東アジア社会文化」、「観光文化」の 4 領域を配置し、4 領域から 2 つを学ぶ構成とします。 (5) ビジネスや行政の場で協働して問題が解決できる能力を育成するために、専門教育科目で共通実践科目を配置します。 (6) 文化を様々な角度から分析する視座を確立する領域として、文芸文化領域、日本・東アジア社会文化領域、観光文化領域、そして情報メディアおよび現代的なサブカ

ルチャーに関する分析能力を育成する情報メディア文化領域の4つの領域を置きます。 (7) 文化理解の視座を確立することを目的とする4領域に関しては、卒業後の進路に応じて、2つの領域を組み合わせた形で学修を提供すべくデザインします。 (8) 卒業研究に関しては、各領域から1名ずつの指導教員を配置し、多面的な見方から文化を分析する能力を育成します。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表） https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/nyushi/policy
（概要） 尚綱大学は、尚綱学園の建学の精神及び大学の理念を理解し尊重する学生を求めます。 現代文化学部は、高度な日本語運用能力、多様な文化と社会に関する知識を身に付けた上で、高度情報化とグローバル化が進行する日本社会に貢献できる人材を育成することを目指し、次のような学生を求めています。 (1) 日本の表現文化に興味がある人 (2) 現代的な情報技術に基づいたメディアコミュニケーションに興味がある人 (3) 国際交流や、国内外の様々な地域文化に関心がある人 (4) 観光を通じて、地域社会や地域文化の発展に貢献したい人 入学を希望する人には、高等学校等において、国語・英語を中心とした基礎学力（知識・思考力・判断力・表現力）を習得し、高等学校等における活動などを通じて主体的かつ協働して物事に取り組む力を身につけていることを望みます。これらに関する能力は、入学後の講義、演習等において、問題解決力及びアクティブ・ラーニングにおいて様々な課題を教員・他の学生と協働して探求・解決する力を本格的に育成するために必要となります。 入学者の選抜方法として、一般選抜、大学入学共通テスト利用型選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜、編入学選抜、社会人選抜、外国人留学生選抜及び外国にルーツを持つ生徒対象選抜を採用し、上記のような能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価します。 ・一般選抜では、国語、英語の記述式試験、調査書及び自己申告書において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。 - 英語について、4技能（聞く・読む・話す・書く）を測る外部検定試験を利用する場合は、記述式試験の得点と比較し、高得点の方を採用します。 ・一般選抜（総合問題）では、小論文を含む総合的な記述式試験及び調査書において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。 ・大学入学共通テスト利用型選抜では、国語、外国語、情報Ⅰから2科目及び調査書において知識・技能、思考力・判断力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。 ・学校推薦型選抜では、小論文、調査書、推薦書及び面接において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。 ・総合型選抜では、体験授業、面接、自己申告書等及び調査書において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。 ・総合型選抜（自己推薦型）では、自己推薦書、面接及び調査書等において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。 ・編入学選抜では、小論文及び面接において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。 ・社会人選抜では、2年以上の社会人経験を有する方を対象に、小論文及び面接において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び基礎学力と共に社会人としての経験や実績に基づき多様な人々と主体的に協働して学ぶ力を総合的に評価し選抜します。

- ・外国人留学生選抜では、作文及び面接において基礎的な日本語能力及び日本で学習する意欲等を総合的に評価し選抜します。
- ・外国にルーツを持つ生徒対象選抜では、自己申告書及び面接において基礎的な日本語能力を、調査書において知識・技能、学習する意欲等を総合的に評価し選抜します。

学部等名 生活科学部栄養科学科
教育研究上の目的（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表-尚絅大学学則） https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/univ/disclosure/2024/09_gakusoku_univ.pdf
（概要） 生活科学部は、建学の精神及び教育理念に則り、人間の健康と食のあり方を広い視野から深く教育研究することにより、食・栄養に関する先進的な専門知識と実践技術を身につけ、自律性・対話力・考察力を兼ね備えた専門職業人として、栄養教育、栄養管理、食育等を通して、広く社会に貢献できる女性を育成することを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表） https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/diploma_policy?id=ad02
（概要） 生活科学部は、建学の精神のもと、教育研究の目的に則り、以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、「学士（栄養学）」の学位を授与します。 （1） 幅広い社会的関心と教養を有するとともに、社会人としての使命感・倫理観を備え、豊かな人間性に基づく優れたコミュニケーション力を身につけている。 （2） 栄養・健康・医療に関する専門的知識を基盤とした実践的能力を修得するとともに、科学的かつ数理統計的な視野により最新の情報を総合的に理解・分析・活用できる能力を身につけている。 （3） 食や食品等に関する専門職としての役割を理解し、食品・食品加工・食品開発等の専門的スキルを有し、社会に貢献しようとする態度を備えている。 （4） 積み上げてきた体系的知識・技能を用いて、保健・医療・福祉・食品・教育・行政分野等の課題に対して、専門職としての確かな考察・判断を行う能力をもち、他職種との連携のもと、実践に移す能力を身につけている。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表） https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/curriculum_policy?id=ad02
（概要） 生活科学部は、学則に掲げる目的に基づき、ディプロマ・ポリシーで示す能力を修得させるため、以下のような方針でカリキュラムを編成します。 （1） 大学教育への円滑な導入を図る初年次教育として、自主的思考力を涵養し、汎用的技能と専門的知識の修得に必要な基礎学力を身につけるための科目を配置します。 （2） 幅広く深い教養を培い、豊かな情操や高い倫理観を涵養するために、教養教育科目を配置します。 （3） 栄養士養成課程及び管理栄養士養成課程として必要な科目を中核とし、管理栄養士に必要な高度な専門的知識・技能を育成するために、専門教育科目（専門基礎分野及び専門分野）を段階的、系統的に展開します。また、適切な態度・倫理観、さらにそれらを背景としたコミュニケーション力を育成するために、実験・実習・演習を体系的に配置します。 （4） 栄養士・管理栄養士としての創造的思考力・判断力、社会性、協調性を育成するために、専門的知識と技能の統合的・実践的学修の場として、「管理栄養士総合演習」「臨地実習」「卒業研究」を配置します。 （5） 栄養教諭が備えるべき教育学的見識と十分な指導・教育力を育成するために、教養教育および専門教育と連動するかたちで、栄養教諭一種免許状取得を目指す教職課程を配置します。

- (6) 食品衛生監視員（任用資格）、食品衛生管理者（任用資格）、その他の資格を取得するための科目を配置します。
- (7) 将来の幅広いキャリアアップ選択を促すため、入学時から意識的に進路を熟慮する機会を設け、食と医療、栄養教育に関する専門的知識と技能を深める場として、「スキルアッププログラム」を配置します。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表）

https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/admission_policy?id=ad02

（概要）

尚絅大学は、尚絅学園の建学の精神及び大学の理念を理解し尊重する学生を求めます。生活科学部は、健康の保持・増進や疾病の予防・治療を目的にした栄養指導、医療・福祉・教育分野での栄養管理、食育、食品の研究・開発などに強い関心を持ち、食・栄養の専門家としての高度な知識・技能の修得を目指したい学生や管理栄養士の食や栄養に関する資格取得を目指して努力できる学生を求めます。

具体的には、次のような意欲にあふれた人を求めます。

- (1) 生活科学部の履修に必要な基礎学力を持ち、主体的に勉学を遂行できる人
- (2) 実践力のある管理栄養士や栄養教諭として、社会に貢献しようと考えている人
- (3) 食品の加工、開発、製造、衛生管理、流通等の専門家として、産業界で活躍したいと考えている人
- (4) 他の専門家との連携やチームワークの重要性を理解し、食・栄養の専門家として、多様な分野の課題解決に取り組みたいと考えている人

入学を希望する人には、高等学校等において、生物、化学、物理、数学など、生命科学を学ぶための基礎知識や思考力・判断力を習得し、主体的に他者とのコミュニケーションを円滑に行うために国語や英語の基礎学力を身につけていることを望みます。これらに関する能力は、入学後の講義、実験・実習・演習等において、他の学生と協働して様々な課題を探究・解決する能力を育成するために必要となります。

入学者の選抜方法として、一般選抜、大学入学共通テスト利用型選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜、編入学選抜、社会人選抜、外国人留学生選抜及び外国にルーツを持つ生徒対象選抜を採用し、上記のような能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価します。

- ・一般選抜では、国語、英語、生物基礎、化学基礎から2科目の記述式試験、調査書及び自己申告書において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

英語について、4技能（聞く・読む・話す・書く）を測る外部検定試験を利用する場合は、記述式試験の得点と比較し、高得点の方を採用します。

- ・一般選抜（総合問題）では、小論文を含む総合的な記述式試験及び調査書において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。
- ・大学入学共通テスト利用型選抜では、国語、外国語、数学、理科からの選択及び調査書において知識・技能、思考力・判断力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。
- ・学校推薦型選抜では、口頭試問、調査書及び推薦書において一般教養、生物基礎及び化学基礎の分野から知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。
- ・総合型選抜では、体験授業・面接または口頭試問に加え、調査書及び自己申告書等において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。
- ・総合型選抜（自己推薦型）では、自己推薦書、口頭試問及び調査書等において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。
- ・編入学選抜では、学力試験及び面接において、栄養士養成専門教育に関する分野から、知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

- ・編入学選抜（社会人対象）では、2年以上の社会人経験を有する方を対象に、小論文及び口頭試問において思考力・判断力・表現力及び基礎学力・技能と共に社会人としての経験と実績に基づき主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度を総合的に評価し選抜します。
- ・社会人選抜では、2年以上の社会人経験を有する方を対象に、小論文及び口頭試問において思考力・判断力・表現力及び基礎学力・技能と共に社会人としての経験と実績に基づき主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度を総合的に評価し選抜します。
- ・外国人留学生選抜では、作文及び面接において基礎的な日本語能力及び日本で学習する意欲等を総合的に評価し選抜します。
- ・外国にルーツを持つ生徒対象選抜では、自己申告書及び面接において基礎的な日本語能力を、調査書において知識・技能、学習する意欲等を総合的に評価し選抜します。

学部等名 こども教育学部こども教育学科

教育研究上の目的（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表-尚絅大学学則）

<https://www.shokei->

[gakuen.ac.jp/files/univ/disclosure/2024/09_gakusoku_univ.pdf](https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/univ/disclosure/2024/09_gakusoku_univ.pdf)

（概要）

こども教育学部は、建学の精神及び教育理念に則り、子どもの内面を理解し適切な指導を行う力、家庭や地域社会と協働し、連携を図りながら教育を実践する力、特別な教育的配慮を要する子どもに対応する力を身につけ、子どもに信頼され慕われる人間性豊かな幼児教育・保育者を養成することを目的とする。

卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表）

https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/diploma_policy?id=ad05

（概要）

こども教育学部は、建学の精神のもと、教育研究の目的に則り、以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、「学士（教育学）」の学位を授与します。

- (1) 保育専門職また社会人として豊かな教養に支えられた総合的な人間力を身につけている。
- (2) 社会に貢献し得る専門的知識・技能を常に求めて学び続けるとともに、研究を深めて課題を発見・解決する力を身につけている。
- (3) 一人一人の子どもへの深い洞察と環境への理解に基づき、保育・教育を構想・実践・評価し向上させる力を身につけている。
- (4) 特別な支援を必要とする子どもに対して、適切な理解に基づいて保育を実践し、育ちを支える力を身につけている。
- (5) 保護者など子どもを取り巻く人々に対し共感をもって深く理解し、援助しつつともに子どもを育てていく力を身につけている。
- (6) 家庭や地域社会とのつながりを重視し、周囲と連携・協働して安全に組織を運営していく力を身につけている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表）

https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/diploma_policy#kodomo

（概要）

こども教育学部は、学則に掲げる目的に基づき、ディプロマ・ポリシーで示す能力を修得させるため、以下のような方針でカリキュラムを編成します。

- (1) 大学教育への円滑な導入を図る初年次教育として、思考力を涵養し、汎用的技能と専門的知識の修得に必要な基礎学力を身につけるための科目を配置します。
- (2) 幅広く深い教養を培い、豊かな情操や高い倫理観を涵養するために、教養教育科目を配置します。
- (3) 幼稚園教諭養成課程及び保育士養成課程として必要な資質・能力を養うために必要

な科目を中心に専門教育科目を段階的、系統的に配置します。また保育者として学び続ける態度を涵養するとともに、実習・実習指導・実践演習等を系統的に配置し、省察を深め資質・能力の向上を図ります。

- (4) 特別な支援を必要とする乳幼児を理解し、保育する力を養うための科目を系統的に配置します。

また、特別支援学校教諭の養成課程を設け、特別な支援について、より学びを深めることができるようにします。

- (5) 幼児教育、保育、特別支援教育について専門性を深めるための特色ある科目を系統的に配置し、4年次では、それまでに培った実践力・研究力を基に卒業研究を行います。

- (6) 幼児教育、保育、特別支援教育の専門職としての対人的な基本的資質・能力を育成し、他者との適切なコミュニケーションにおいて受容・理解・共感し、周囲と連携・協働しながら安全に組織を運営する力を身につけるための科目を配置します。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表）

https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/diploma_policy#kodomo

（概要）

尚絅大学は、尚絅学園の建学の精神・教育理念及び大学の理念を理解し尊重する学生を求めます。

こども教育学部は、子どもを内面から理解し指導する力、具体的な保育を構想する力、家庭や地域社会との関係を構築する力、障害のある子どもにも対応できる力を持った保育者の育成を目指し、次のような学生を求めています。

- (1) 子どもを愛し、子どもの最善の利益を守り、高い倫理観・使命感・責任感を持って子どもの保育を行いたいと考える人
- (2) 高度な専門性に支えられた保育を実践するとともに、自ら学び続ける保育者になりたいと考える人
- (3) 実践的に子どもと関わるとともに、子どもや保育を研究することで保育の質の向上に貢献したいと考える人
- (4) 特別な支援を必要とする子どもを理解し、育ちを支える保育者を目指したいと考える人
- (5) 家庭や地域社会と連携し、保育者として社会に貢献したいと考える人

入学を希望する人には、高等学校等において、国語・英語を中心とした基礎学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）を習得し、高等学校等における活動などを通じて、主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度等を身につけていることを望みます。これらに関する能力は、入学後の講義、演習、実習等において、教員や他の学生と協働して様々な課題を探究し解決する力を本格的に育成するために必要となります。

入学者の選抜方法として、一般選抜、大学入学共通テスト利用型選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜、編入学選抜、社会人選抜及び外国人留学生選抜を採用し、上記のような能力・適性・意欲等を多面的・総合的に評価します。

・一般選抜では、国語、英語の記述式試験、調査書、大学入学志望理由書及び面接において、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持ち多様な人々と協働しつつ学習する態度等を総合的に評価し選抜します。

英語について、4技能（聞く・読む・話す・書く）を測る外部検定試験を利用する場合は、記述式試験の得点と比較し、高得点の方を採用します。

・大学入学共通テスト利用型選抜では、国語、外国語の筆記試験、調査書、大学入学志望理由書において、知識・技能、思考力・判断力、主体性を持ち多様な人々と協働しつつ学習する態度等を総合的に評価し選抜します。

・学校推薦型選抜では、小論文、調査書、大学入学志望理由書、推薦書及び面接において適性や意欲、また、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持ち多様な人々と協働しつつ学習する態度等を総合的に評価し選抜します。

・総合型選抜では、体験授業、調査書、自己申告書、大学入学志望理由書及び面接等、において適性や学習に対する意欲・目的意識等を、また、知識・技能、思考力・判断力・

表現力、主体性を持ち多様な人々と協働しつつ学習する態度等を多面的・総合的に評価し選抜します。

- ・総合型選抜（自己推薦型）では、体験授業、調査書、自己推薦書、大学入学志望理由書及び面接等において適性や学習に対する意欲・目的意識等を、また、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持ち多様な人々と協働しつつ学習する態度等多面的・総合的に評価し選抜します。
- ・編入学選抜では、小論文、大学入学志望理由書及び面接において、知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体性を持ち多様な人々と協働しつつ学習する態度等を総合的に評価し選抜します。
- ・社会人選抜では、2年以上の社会人経験を有する者を対象に、小論文、大学入学志望理由書及び面接において、知識・技能、思考力・判断力・表現力及び基礎学力と共に、社会人としての経験や実績に基づき主体性を持ち多様な人々と協働しつつ学習する態度等を総合的に評価し選抜します。
- ・外国人留学生選抜では、作文、大学入学志望理由書及び面接において、基礎学力や基本的な日本語能力及び日本で学習する意欲や適性、主体性を持ち多様な人々と協働しつつ学習する態度等を総合的に評価し選抜します。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学 Web サイトにおいて公表

(URL: <https://www.shokei-gakuen.ac.jp/outline/>)

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・ 副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	0 人	－					0 人
現代文化学部	－	6 人	7 人	1 人	3 人	0 人	17 人
生活科学部	－	7 人	4 人	3 人	2 人	4 人	20 人
こども教育学部	－	4 人	7 人	4 人	0 人	0 人	15 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1 人		62 人					63 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： 本学 Web サイトにて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/teacher/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
本学 WEB サイトにて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/fd							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
現代文化学部	75 人	34 人	45.3%	300 人	170 人	56.7%	—	3 人
生活科学部	70 人	73 人	104.2%	300 人	269 人	89.7%	10 人	9 人
こども教育学部	70 人	37 人	52.9%	215 人	103 人	47.9%	5 人	6 人
合計	215 人	144 人	67.0%	815 人	542 人	66.5%	15 人	18 人
（備考） こども教育学部については令和 5 年 4 月 1 日開設								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
現代文化学部	61 人 (100%)	0 人 (0%)	56 人 (91.8%)	5 人 (8.2%)
生活科学部	83 人 (100%)	0 人 (0%)	81 人 (97.6%)	2 人 (2.4%)
合計	144 人 (100%)	0 人 (0%)	137 人 (95.1%)	7 人 (4.9%)
（主な進学先・就職先）（任意記載事項） <現代文化学部> 出田実業株式会社、医療法人社団藤栄会すえふじ医院、医療法人長嶺南ファミリー歯科、開成工業株式会社、学校法人尚絅学園、学校法人東海大学東海大学付属熊本星翔高等学校、株式会社 DNS、株式会社アインホールディングス、株式会社アドキャスト、株式会社エイジェック、株式会社エヌ・アイ・ケイ、株式				

会社大寫屋、株式会社こうし未来研究所、株式会社コスギ不動産ホールディングス、株式会社コスモス薬品、株式会社三勢、株式会社獅子、株式会社スタッフサービス ミラエール推進部、株式会社総合プラント、株式会社にしけい、株式会社西日本新聞プロダクツ、株式会社ハイコム、株式会社ハウディ、株式会社肥後銀行、株式会社肥後ポリエチレン、株式会社ヒューマンテック、株式会社メモリアルむらもと、株式会社ゆめマート熊本、株式会社ラウンドワンジャパン、九州テイ・エス株式会社、九州デジタルソリューションズ株式会社、熊本県教育委員会（熊本県立図書館）、熊本市教育委員会（熊本市立図書館）、熊本市役所、熊本大同青果株式会社、熊本中央信用金庫、コーセー化粧品販売株式会社、金剛株式会社、信金中央金庫、南国フルーツ株式会社、日本生命保険相互会社、パーソルファクトリーパートナーズ株式会社、ハイコムビジネスサポート株式会社、ハタノ総合印刷株式会社、肥銀カード株式会社、肥薩おれんじ鉄道株式会社、有限会社桑原モータース、ロイヤルホールディングス株式会社
＜生活科学部＞
天草市役所、医療法人朝日野会朝日野総合病院、医療法人有働会有働病院、医療法人回生会山鹿回生病院、医療法人金澤会青磁野リハビリテーション病院、医療法人社団岡山会九州記念病院、医療法人社団高邦会グループ福岡山王病院、医療法人社団翔舞会エムズ歯科クリニック、医療法人社団仁誠会介護老人保健施設ケアセンター赤とんぼ、医療法人社団鶴友会鶴田病院、医療法人春水会山鹿中央病院、医療法人杉村会杉村病院、医療法人如春会浦田医院、医療法人弘生会本庄内科病院、医療法人山部会くまもと成城病院、エームサービス株式会社、学校法人産業医科大学、学校法人尚絅学園、学校法人平岡学園、カネリョウ海藻株式会社、株式会社LEOC、株式会社Red Bear、株式会社コリレーション・ワン、株式会社三協デリカ、株式会社トモズ、株式会社ドラッグストアモリ、株式会社弘乳舎、株式会社富士薬品、株式会社モード・プランニング・ジャパン、川崎市役所（栄養職員）、九州総合サービス株式会社、熊本県教育委員会（学校人事課小中学校人事班）、熊本市教育委員会、熊本赤十字病院、社会医療法人愛育会福田病院、社会医療法人寿量会熊本機能病院、社会医療法人令和会熊本リハビリテーション病院、社会福祉法人愛誠会特別養護老人ホーム小島苑、社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院、社会福祉法人貴心会美心幼愛園、社会福祉法人熊本菊寿会特別養護老人ホームさわらび、社会福祉法人秋桜会幼保連携型認定こども園ふわわ、社会福祉法人月出保育園、社会福祉法人常永福祉会幼保連携型こども園こじか園、社会福祉法人徳和会特別養護老人ホーム花の季苑、社会福祉法人光輪福祉会幼保連携型認定こども園城高保育園、社会福祉法人恵満生福祉会からたちこどもえん、荘園内科クリニック、地方独立行政法人くまもと県北病院、特別養護老人ホーム黎明館、独立行政法人国立病院機構九州グループ、西田精麦株式会社、ひがし歯科医院、富士産業株式会社、有限会社ひよこカンパニー 大江ノ郷自然牧場、医療法人起生会表参道吉田病院、医療法人社団高邦会グループ柳川リハビリテーション病院、社会福祉法人白日照古苑、東洋ナッツ食品株式会社
（備考）

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
現代文化学部	55 人 (100%)	55 人 (100%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
生活科学部	68 人 (100%)	68 人 (100%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
合計	123 人 (100%)	123 人 (100%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
(備考) こども教育学部については令和 5 年 4 月 1 日開設のため対象外					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) ■尚綱大学授業計画作成手引き (URL:https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure) ■各学部の授業科目のシラバス一覧 https://gakumu.shokei-gakuen.ac.jp/ ※ゲストユーザーからログインし、シラバスを検索してください。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 尚綱大学学則第 13 条に規定する単位の計算方法により各授業科目の単位数を決定し、且つ尚綱大学学則第 24 条及び第 28 条に基づき、単位・卒業の認定を行う。 本学では単位の認定を行うにあたり、各教員に対してその授業を学ぶ「意味・意義」を意識させたシラバスの作成を求め、またその授業科目がディプロマ・ポリシー（学位授与方針）とどのように関連しているかを明示するよう求める。 具体的には「授業概要」「キーワード」「課題と評価の方法」「事前・事後学修及び学修時間の目安」等を記載し、入学した学部・学科の教育課程の授業科目を履修している。そして、各授業科目に定めている「到達目標」の達成状況を学力試験及び受講状況その他により認定の上、合格した者に単位を与えている。 卒業の認定については、本学に 4 年以上在学し、学部・学科で定める所定の授業科目を履修して 124 単位以上の単位を修得した者について、教授会の議を経て、学長が卒業を認定している。 (根拠規則) 尚綱大学学則第 13 条、同第 24 条、同第 28 条 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/univ/disclosure/2024/09_gakusoku_univ.pdf 『GPA の算定について』 尚綱大学におけるグレード・ポイント・アベレージ（GPA）制度に関する規程 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure
--

尚絅大学ディプロマ・ポリシー https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/diploma_policy?id=ad01				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
現代文化学部	文化コミュニケーション学科	124 単位	㊥・無	45 単位
生活科学部	栄養科学科	124 単位	㊥・無	49 単位
こども教育学部	こども教育学科	124 単位	㊥・無	47 単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：本学 Web サイトにて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/campus-life/kuhonji (九品寺) https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/campus-life/musashi (武蔵ヶ丘)
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
現代文化学部	文化コミュニケーション学科	670,000 円	220,000 円	260,000 円	施設設備資金 休学納付金
生活科学部	栄養科学科	750,000 円	220,000 円	360,000 円	施設設備資金 休学納付金
こども教育学部	こども教育学科	670,000 円	220,000 円	260,000 円	施設設備資金 休学納付金

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 学修支援講座の実施 授業についていけない、学修の方法が分からない、レポートの書き方が分からない、就職試験の一般教養に自信がない、編入学のための準備の仕方が分からない等々の悩みや不安に寄り添い、日々の学修活動が円滑に進むよう学部ごとに支援している。 具体的には、高校までの学習内容の復習や授業内容の補習の他、個別の学習・履修相談、資格取得等の幅広い相談にも応えている。また、九品寺キャンパスにおいては管理栄養士の国家試験を目指す生活科学部の学生を中心に生物・化学の学修支援のほか、国際交流協定校での語学留学に向けた英語、中国語、韓国語のスキルアップや諸外国の海外事情等のレクチャーを行うなどの支援を行っている。一方、武蔵ヶ丘キャンパスでは、保育者養成のためのピアノ指導や情報処理の支援を行っている。 このほか、学修相談、履修相談を九品寺事務部教務課及び武蔵ヶ丘事務室事務課受け付けており、スムーズな履修登録が行えるよう指導している。 学修環境について、九品寺キャンパスでは大学図書館のグループ学習室、武蔵ヶ丘キャンパスでは大学2号館にスタディールームを設け、サポートを行う教科を開講し、学生の自習等に利用できるよう整備されている。 なお、掲示板、Googleclassroomを通じて、学生にスケジュールを周知している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 就職・進路支援センター (URL : https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/career/) 就職・進路支援センターでは、学生の多様なニーズに対応し、希望の就職・進路の実現をサポートしており、①個別支援 (履歴書・エントリーシート対策、キャリアカウンセリング、模擬面接) ②就職支援・資格取得支援 (就職対策講座、簿記検定対策講座) ③就職支援プログラム (インターンシップ、経営者による講演、会社説明会、企業研究会) ④キャリアガイダンス (専門家や社会人による講演、合同会社説明会兼企業研究会、模擬面接、SPI 試験対策講座、メイク・マナー講座) など希望の就職・進路の実現ができるようバックアップの体制を整えている。学生の希望をしっかりと聞き取り、本人に寄り添いながら人生設計を踏まえ将来のビジョンを共に考えるなど、最適な就職・進路の選択や決定ができるよう支援を行い、夢や希望を実現させるための充実した就職支援体制を整えている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 九品寺キャンパスに学生課、武蔵ヶ丘キャンパスに事務課を置き、学生生活に関すること全般にわたり支援を行っている。特に学生の心身の健康等に係る支援に関する取組みについては、以下のとおりである。

・各キャンパスにおいて年1回（4月）に健康診断を実施し、学生の健康状態を把握する。 ・各キャンパスにおいて、保健室（養護教諭を置く）を設置し、学生の健康状態を把握する。 ・各キャンパスにカウンセラー室を設置し、週1回、臨床心理士又はソーシャルワーカー（社会福祉士）による相談を受け付けている。 これらについては、学生の健康状態、心身の相談状況等を学生支援課、保健室、カウンセラー、キャンパスソーシャルワーカーで連携し、学生の状況について改善を図るよう努めている。 このほか、新入生に対し「学生支援講座」を開講し、学生に対し「こころの健康」、「女性の健康」、「薬物乱用防止」の講話を受講させ、心身の健康に係る支援を行っては声掛けをして必要な対応や支援を行うことを予定している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：公表方法：公表方法：本学 Web サイトにて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	F143310111335
学校名（〇〇大学 等）	尚綱大学
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人尚綱学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		104人（ ）人	102人（ ）人	99人（ ）人
内 訳	第Ⅰ区分	64人	59人	
	（うち多子世帯）	（ ）人	（ ）人	
	第Ⅱ区分	21人	21人	
	（うち多子世帯）	（ ）人	（ ）人	
	第Ⅲ区分	14人	17人	
	（うち多子世帯）	（ ）人	（ ）人	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	—	—	
	区分外（多子世帯）	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				99人
(備考)				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が廃止の基準に該当）	0人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意 欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	—	人	人
計	—	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良である
ことについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2 年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたこと
により認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの)に限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。))及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。))	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの)に限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。))及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。))	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が警告の基準に該当)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	15人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意 欲が低い状況	—	人	人
計	18人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。